

佐野市景況レポート

令和6年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

急速な円安修正により業況感は改善か

【 令和6年7～9月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲19.0、前期（6月期）比+1.7ポイントと、市内事業所の業況感は前回6月の調査からやや改善しました。

利益DI指数▲28.6（前期比+7.8）、売上高DI指数▲20.9（前期比▲0.5）と、利益DI指数は改善し、売上高DI指数はやや悪化しました。また、原材料・仕入価格DI指数は51.3（前期比▲8.9）、販売価格DI指数は18.7（前期比+4.6）と、原材料・仕入価格指数は下落し、販売価格指数は上昇して、交易条件（販売価格指数－仕入価格指数）は改善しました。

円安修正のためか、交易条件が改善して利益指数が改善する好循環が生じたようです。

【 令和6年10～12月期 見通し 】

3カ月先の全業種業況DI指数は▲16.1（前期比+4.2）と、業況感の改善を予想しています。売上高DI指数▲12.8（前期比+5.4）、原材料・仕入価格指数40.1（前期比▲11.5）、販売価格指数9.8（前期比▲0.9）と、前期予想に比べ、売上高指数は上昇し、原材料・仕入価格指数は下落、販売価格は若干の下落と交易条件の改善を予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

事業所等の景況コメントには、①原材料・仕入価格上昇等の価格転嫁難、②人材不足、に関するコメントが多く寄せられました。また、最低賃金引上げに伴うコストアップ等の懸念が寄せられました。

円安の影響調査をみると、急速な円安修正が進んだ9月においても、悪影響を受ける事業所は全体の56%を占めています。依然、原材料・仕入価格及び燃料価格の高止まりが、事業所に深刻な影響を与えています。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和6年7～9月期)		見通し (令和6年10～12月期)	
業 況	▲19.0		▲16.1	
売 上 高	▲20.9		▲12.8	
販 売 価 格	18.7		9.8	
仕 入 価 格	51.3		40.1	
労 働 力	▲26.8		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・ 仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和6年7～9月期実績）



全業種DI指数▲19.0、前期比1.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業 10.3ポイント、②建設業▲3.4ポイント、③サービス業▲11.4ポイント、④食品製造業▲13.6ポイント、⑤飲食店▲16.7ポイント

良い



悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和6年7～9月期実績）



全業種DI指数 51.3、前期比▲8.9ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)85.7ポイント、②飲食店 73.8ポイント、③卸売業 68.2ポイント、④建設業 68.0ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 57.9ポイント

上昇



下落



☆ 売上高について（令和6年7～9月期実績）



全業種DI指数▲20.9、前期比▲0.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 0.0ポイント、②食品製造業▲7.3ポイント、③設備業▲11.1ポイント、④サービス業▲11.7ポイント、⑤繊維品製造業▲12.0ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和6年7～9月期実績）



全業種DI指数 18.7、前期比 4.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)37.5ポイント、②建設業 32.5ポイント、③卸売業 30.6ポイント、④飲食店 30.4ポイント、⑤その他の製造業 28.6ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和6年7～9月期実績）

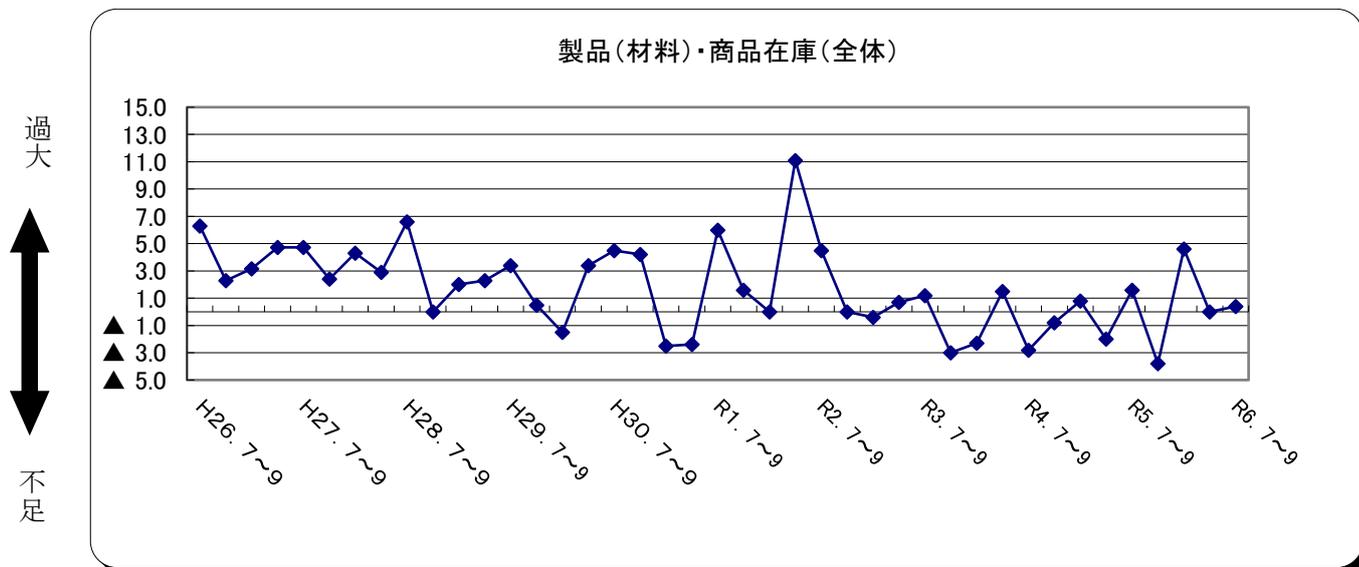
天気図



全業種DI指数0.4、前期比0.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)27.3ポイント、②その他の小売業(大型店含む)11.1ポイント、③機械・金属製造業7.1ポイント、④建設業、食品製造業、化学・プラスチック製造業、飲食店0.0ポイント、⑤サービス業▲3.5ポイント



☆ 利益状況について（令和6年7～9月期実績）

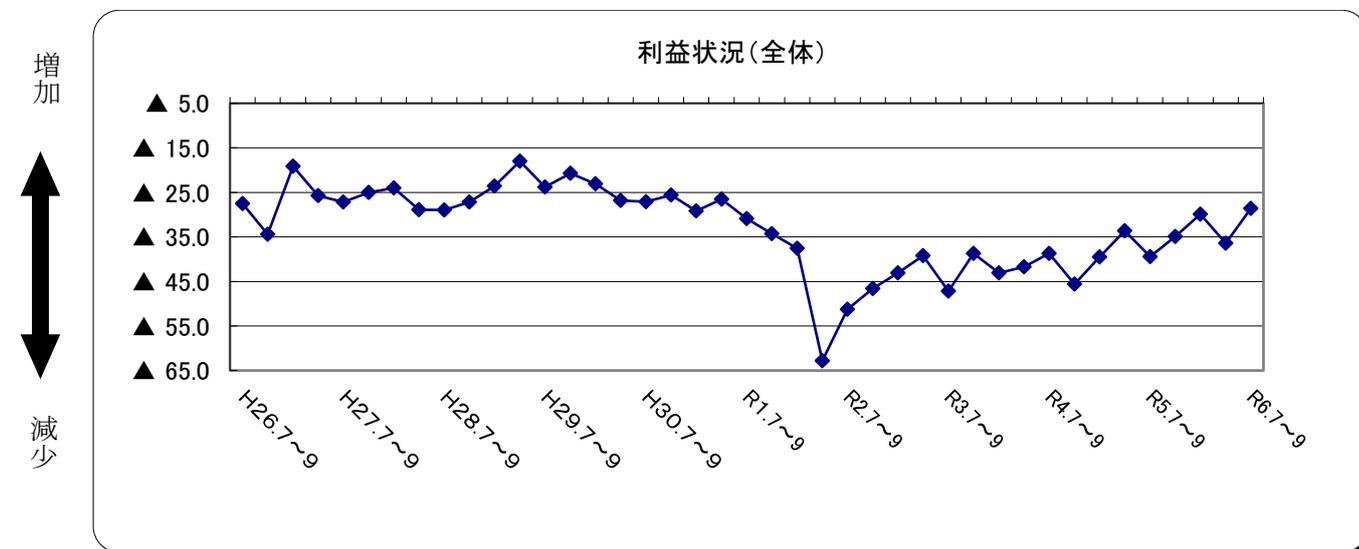
天気図



全業種DI指数▲28.6、前期比7.8ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業▲10.7ポイント、②繊維品製造業▲11.1ポイント、③その他の製造業▲13.0ポイント、④サービス業▲15.4ポイント、⑤小売業(飲・食料品)▲17.6ポイント



☆ 資金繰りについて（令和6年7～9月期実績）

天気図

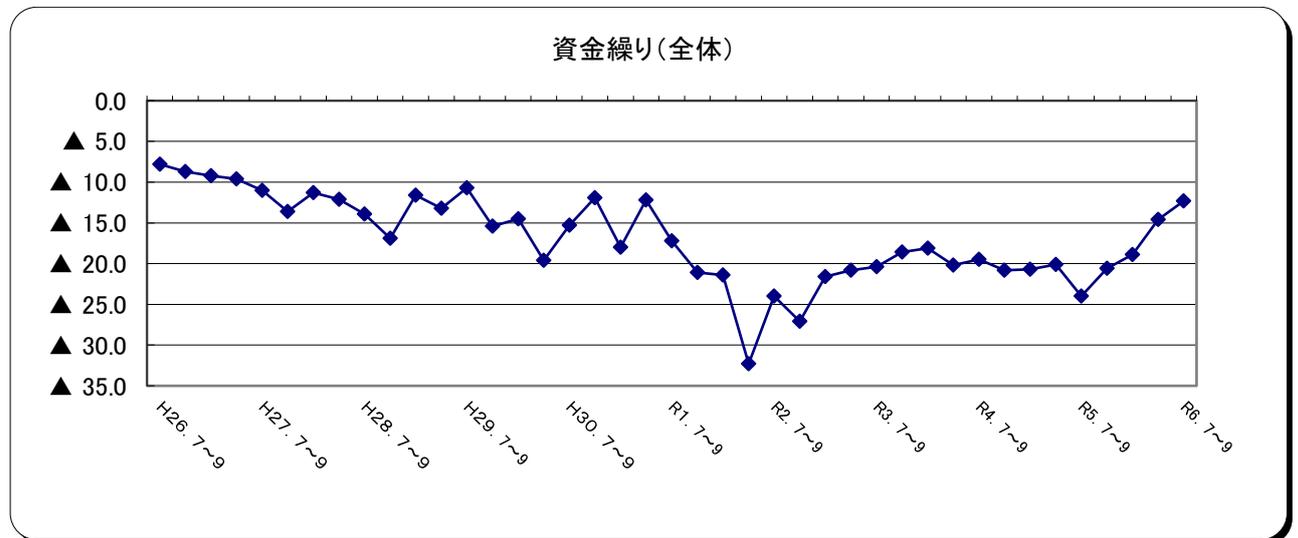


全業種DI指数▲12.3、前期比2.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業、食品製造業 0.0 ポイント、②設備業▲4.9 ポイント、③卸売業▲5.7 ポイント、④その他の製造業▲6.4 ポイント、⑤機械・金属製造業▲6.8 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について（令和6年7～9月期実績）

天気図



全業種DI指数▲26.8、前期比▲2.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の小売業(大型店含む)5.7 ポイント、②小売業(飲・食料品)0.0 ポイント、③繊維品製造業▲11.1 ポイント、④卸売業▲18.4 ポイント、⑤機械・金属製造業▲18.5 ポイント

過剰
↑
↓
不足

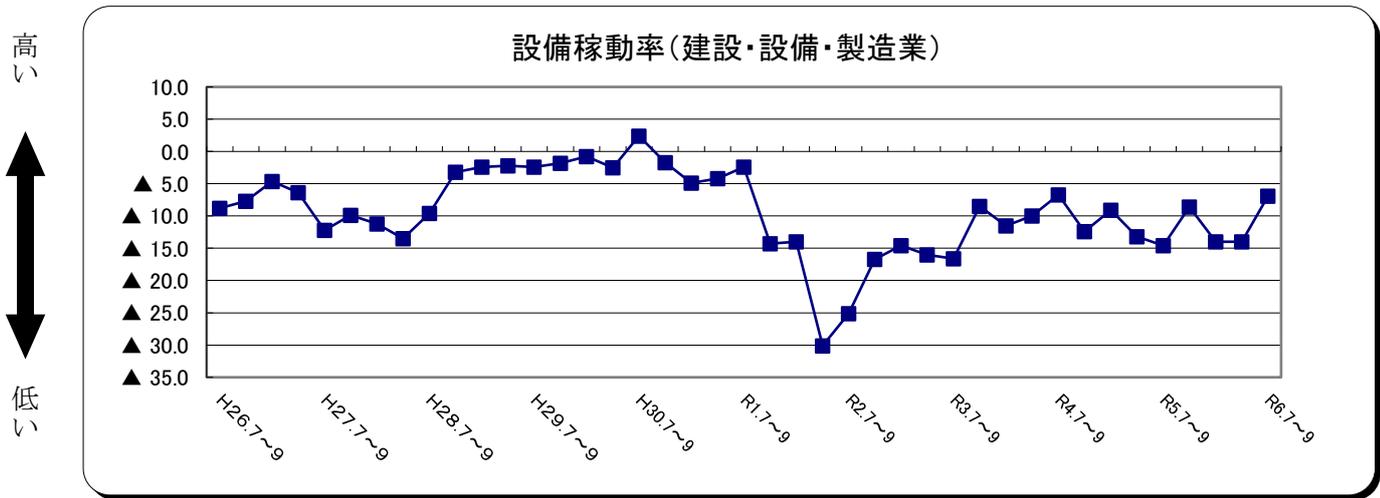


☆ 設備稼働率について（令和6年7～9月期実績）
（建設・設備・製造業関係）

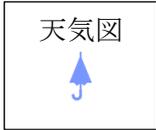


全業種DI指数▲6.9、前期比7.1ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 0.0ポイント、②設備業▲4.9ポイント、③食品製造業▲6.4ポイント、④建設業▲10.3ポイント、⑤繊維品製造業▲11.1ポイント

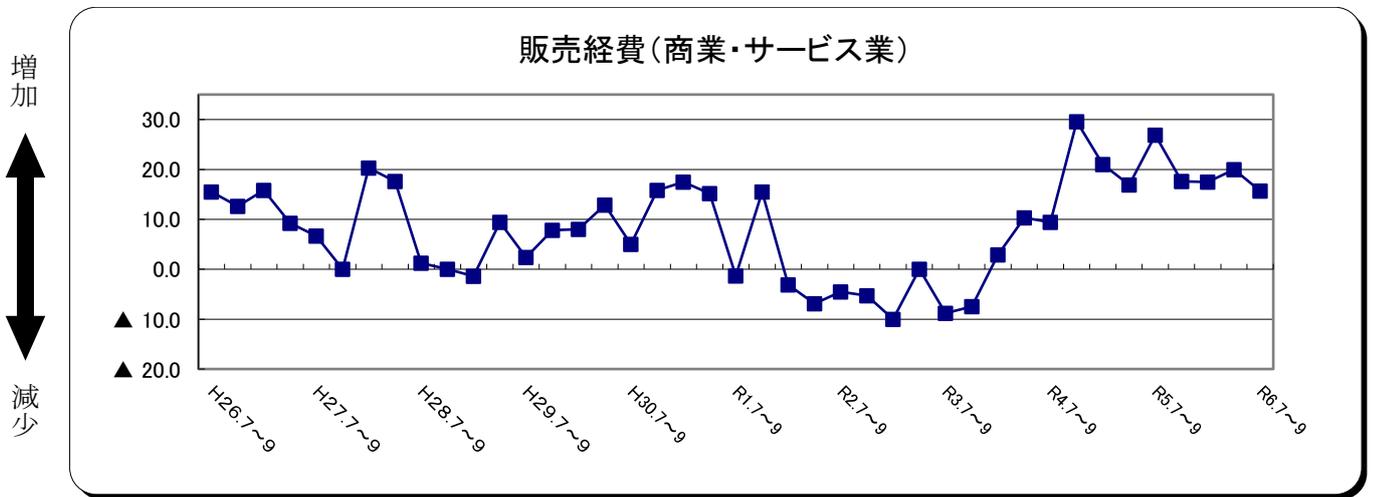


☆ 販売経費について（令和6年7～9月期実績）
（商業・サービス業関係）



全業種DI指数 15.7、前期比▲4.3ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 41.5ポイント、②卸売業、小売業（飲・食料品）17.6ポイント、③サービス業 7.0ポイント、④その他の小売業（大型店含む）▲5.9ポイント、



☆ 今後3ヶ月先（令和6年10～12月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲16.1、前期比4.2ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業10.0ポイント、②その他の製造業6.7ポイント、③食品製造業0.0ポイント、
- ④建設業▲10.6ポイント、⑤繊維品製造業▲12.0ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和6年10～12月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲12.8、前期比5.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業6.7ポイント、②繊維品製造業、食品製造業0.0ポイント、③飲食店▲4.1ポイント、④設備業▲5.3ポイント、⑤建設業、機械・金属製造業▲14.3ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和6年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 40.1、前期比▲11.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 80.0ポイント、②小売業(飲・食料品)72.4ポイント、③卸売業 68.2ポイント、④設備業 55.6ポイント、⑤食品製造業 45.0ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和6年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について



全業種DI指数 9.8、前期比▲0.9ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

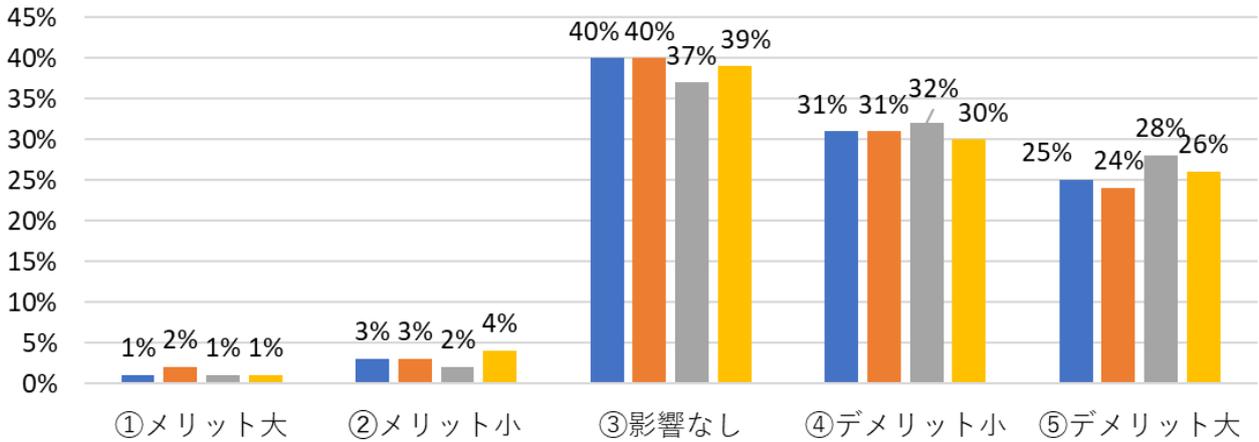
- ①小売業(飲・食料品)37.5ポイント、②その他の製造業 20.0ポイント、③卸売業 18.4ポイント、④その他の小売業(大型店含む)17.6ポイント、⑤設備業 14.8ポイント

上昇
↓
下落



円安の影響

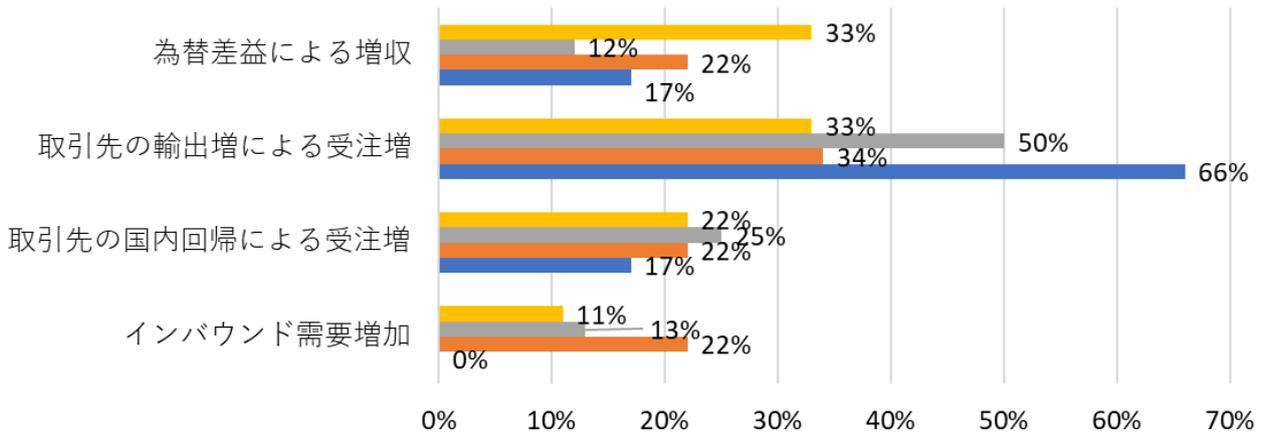
■ R5年12月期 ■ R6年3月期 ■ R6年6月期 ■ R6年9月期



円安のメリット①② (大・小)

(複数回答有)

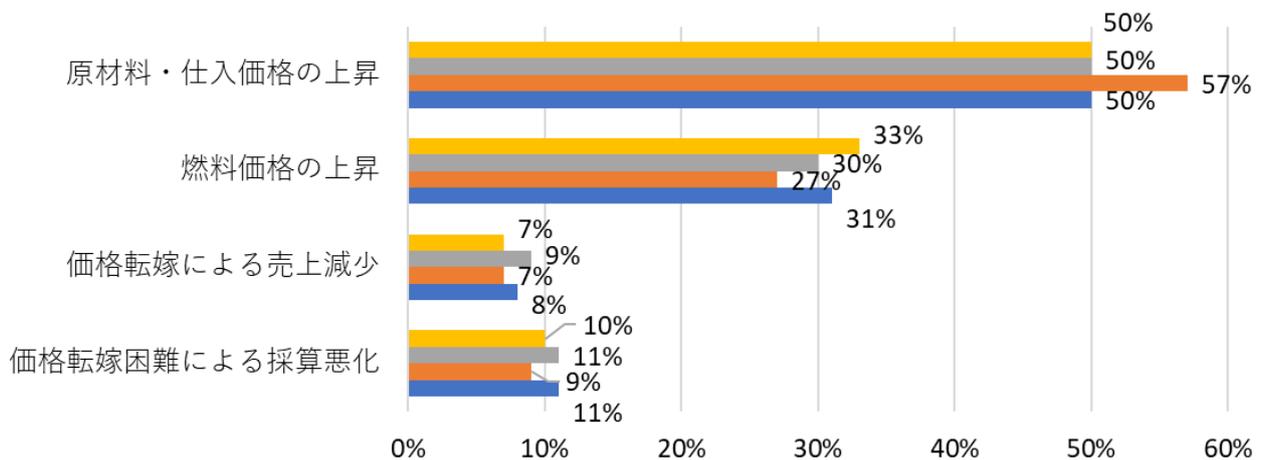
■ R6年9月期 ■ R5年12月期 ■ R6年3月期 ■ R6年6月期



円安デメリット④⑤ (小・大)

(複数回答有)

■ R6年9月期 ■ R5年12月期 ■ R6年3月期 ■ R6年6月期



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・年内は維持できそうです。来年春以降きびしいです。
- ・業界全般的に仕事量が減少しているが、それ以上に同業社数や作業員が減少した事で、売上げも減少している。
- ・昨年は何とか仕事量がありました。今年も同じ位にあると良いと思っております。
- ・従業員不足。

設備工事業

- ・良くなってほしいです。
- ・材料、人件費が上昇しているが、工事価格に反映されにくい状況が続いている。
- ・働き方改革、時間外労働の上限規制、営業、生産性、労働力等向上に対してデメリット大

繊維品製造業

食品製造業

- ・クーポンスワップの契約が全てロックアウトした。
- ・9月、10月の3連休や紅葉のシーズンになり、人の動きが活発になってくるので、しっかりがんばりたいです。最低賃金上がるので、しっかり価格に転嫁していかないと利益を圧迫してしまうので、気をつけていきたいです。

機械・金属製品製造業

- ・人材採用困難と最低賃金の引き上げは、これからの事業継続問題である。
- ・下期不透明感有り。
- ・材料費の値上げ、下げは販売価格に反映出来るが、副資材、人件費の値上げは理解されるが、反映出来ていない。

化学・プラスチック製品製造業

その他製造業

- ・円安は円高に移りつつあるので、材料価格が下がると良い。今はまだ高い。従業員は不足気味で売上上昇のチャンス逃がしている。インバウンド需要は感じつつある。
- ・生産実施にあたり人員の確保が困難であり、既存人員での時間外生産は増加しているが、仕入れ値上昇人件費上昇の価格転嫁ができていない。
- ・円安が多少落ち着いて来ましたがまだ安いです。120円台まで戻せば大分楽になる感じます。

卸売業

- ・売上は現状維持しているものの、もう少し円高になってほしい。(輸入業社の為)
- ・輸出は増えていますが、逆に輸入は円安なので低迷。輸出に今は力を入れている。
- ・10月以後も商品の値上がりが続きそうです。
- ・日銀の利上げは中小企業に大打撃を与えそうです。
- ・コストが上昇した分だけ消費税を下げてもらいたいです。
- ・昨年未くらいまでは良かった雰囲気、こここのところ悪化している。

小売業(飲・食料品)

- ・全国的に厳しい暑さが続いている為、農作物が高値です。

- ・物価上昇がそろそろ落ち着いてほしいです。全ての仕入価格が上がりすぎているが、商品価格には転嫁しづらい。
- ・何か得する情報があったら教えてください。

その他の小売業（大型店含む）

- ・株価が下がりそうで心配です。
- ・景気が悪くて先行きが不安である。
- ・今年度、夏は異常気温に付、Wパンチと成っているがさからえない。秋が来るのだろうか？

飲食店

- ・材料高騰、人件費の賃金引上げ、光熱費、その他の影響で悪すぎる。
- ・少し上向きに思えますが、波があり忙しい時、暇な時ははっきりしている。（時に夜は動かない）
- ・いつもお世話になっております。感謝致します。
- ・夏枯れ状態です。
- ・まだまだコロナの方がいるので気がぬけない。
- ・河川の拡張工事のため、今月をもって閉店することとなり、来月には店舗がとりこわしとなります。長い間ありがとうございました。
- ・仕入すべての物が価格上昇だが価格になかなか反映できない。
- ・新米から米価格が1.7倍との事で飲食店には厳しい状況が続いています。
- ・プレミアム商品券が活躍しています！
- ・11月～12月新店OPENです。よろしくお祈りします。
- ・売価の改正をしたいのですが、前回改正した際に売上高が大幅に減少したので、どうするか悩んでおります。
- ・コロナで家飲みが定着してしまい、あまりお客様の来店頻度が減少しているように感じます。
- ・仕入先から毎月のように価格引上げの連絡があり困っております。当店も引上げしたいのですが、その反動が怖いので現在考え中です。
- ・当店のお客様の8割は市外、市内は2割しかありません。ありがたいことですが、地元客に愛される店づくりに今後務めていきたいと思っております。
- ・10月より最低賃金が1000円を超えることとなりました。当店のパート、アルバイトも引上げしなければなりません。
- ・当店の昼のアルバイトの時給は1200円ですが、全く募集しても集まりません。困りました。

サービス業

- ・お世話になっております。価格の安いお店が増えているからなのか？お客様は減っている。オンラインよりもリアルの方は増えている。
- ・生の花も輸入に頼るところが大きい。生産者不足で国内もきびしい。
- ・政府の新紙幣発行に伴い券売機の強制的更新させられ100万円の支出増。アベノミクスによる円安誘導で、光熱費・原材料費価格高騰による業績悪化。地方零細企業の現況無視した最低賃金上昇枚挙に余りある。
- ・不動産業を行っているのですが、現時点では取扱案件の質の方が景気より重要と考えています。ここ数カ月、市内の飲食店の閉店が増えそうな流れがあり、コロナ以降の計画のズレ・人手不足などが多くの業種で現れていると感じます。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和6年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、188社（回答率64.8%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所